

月例報告	
学部	法
学科	国際政治
国名	メキシコ
留学先	グアダハラ大学
報告月	2018年9月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:> IDIOMA2</p> <p>この授業は、スペイン語の授業である。本来であればスペイン語を学ぶための授業は一つも取らないことが望ましい、というより取るべきではないと考えている。この派遣留学は語学留学ではないという前提がある以上、スペイン語を学ぶ目的で科目を履修することは適切とは言えないことは踏まえている。ただ、自分のようにスペイン語の経験が乏しい者が、できるだけ早く専門科目の授業についていけるようになるためにはやむをえないと判断し、受講するに至った。</p> <p>初回の授業がほかの授業と比較して一週間遅かったため現時点までに2回の授業を終えた。正直、授業を理解できているかと言われると、決してうなずくことのできない状況である。ある記事を読んでその内容について話合うという形式で授業が行われたが、単語力が原因で内容を理解できず、先生が尋ねていることも理解できず、といったように散々な状態であった。ただ、それは自分に限ったことではなく、多くの日本人留学生に共通して言えることであった。そのため、徐々に先生も日本人以外の学生も、日本人のレベルに合わせて、授業のスピードを落としてくれるように感じている。</p> <p>POLITICA EXTERIOR DE AMERICA LATINA</p> <p>派遣留学に参加した目的の一つに、ラテン・アメリカ諸国の政治に関して学ぶというものがあったので受講した。また、なぜ外交についての授業を選択したかと言えば、冷戦期のアメリカとラテン・アメリカ諸国の関係に関心があり、日本にいた際にも少し調べていたためである。</p> <p>さすがに、専門科目であるというだけあって、今の自分の語学力ではほぼ授業の内容を理解できていない。それがどの程度なのかというと、例えば、来週の授業までの宿題があるのかどうか分からないという具合である。そこで、ただわからないと嘆いているわけにもいかないの、とにかくパワーポイントに書かれていることのすべてをノートに書き写すということを実践している。家に帰ってからそれらを解読し、最低限授業の大枠は理解できるようにしようと考えている。</p> <p>もう一点、日本の大学では考えられないが、この授業は朝7時からである。授業中に眠気を感じている暇はないものの、まだ暗い中で大学へ行き授業を受けることが普通だということには驚いた。</p> <p>HISTORIA LATINOAMERICANA</p> <p>ラテン・アメリカの政治を学ぶ上でその歴史についての知識を持つておくことが重要に思えたので受講を決めた。基本的に完全な講義形式の授業というのは、存在しないように思っているが、この授業は特にディスカッションの時間が多く、というよりほぼすべての時間がそれに費やされる。会話をする人数が多ければ多いほど、話についていくことが困難になるため、自ら発言をすることはほぼできていない。ただ、周りの学生の親切さによって時々話を振ってもらえることもあるのは非常にありがたい。また、予習として毎回、議論のテーマとなる本を読んでこなければならないが、5ページほどの内容を理解するのに3時間くらいかかっているため、予習という面では絶望的な状況だ。</p> <p><語学について></p> <p>すでに語学の困難さについて多く書いてしまったので、授業以外の部分についてここでは触れておこうと思う。現在住んでいる家の住人は、自分以外すべてメキシコ人なので、できるだけ会話をする機会を得られるようにしている。一か月ほど経過して聞き取れるようになったと感じることは全くないが、より効率よく上達できる方法があるのかもわからないので、信じて続けていこうと思っている。また、メキシコ人の友人から遊びに誘われたときはできる限り応じるようにしている。もちろん話す、聞くという部分を重視することの弊害もあって、机に向かう学習の時間が全然取れない。今はそうした時間を確保するためのマネジメントも考えている。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>基本的に現地の食生活で困難を感じることはない。メキシコ料理はすでに食べたものに限るがどれもおいしく、辛さについても、慣れれば特に問題ではなかった。食事が合うかどうかは本当に重要なポイントだと思うので、それは良かった。</p> <p>語学の項目のところですでに書いているように、できるだけ日常生活からスペイン語に触れる機会が多くなるように心がけている。そのため、友人と会うときは常にトレーニングという認識でいる。楽しいときもあるので悪くないのだが、早く義務感のようなものから脱して、楽しむときは楽しむことに専念できればと思っている。</p> <p>とはいえ、自分の趣味のための時間も設けているので、その時間は純粋に楽しめているし、息苦しさを感ずることもない。特に、サッカーの試合があれば積極的に観に行くようにしている。というのも、留学の個人的な目的の一つとしてメキシコリーグを分析したいというものを持っている。息抜きとしての側面と将来自分目指すものための勉強という側面とを兼ね備えているので、一石二鳥と言える。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>実際にメキシコに来るまでは、とても憂鬱で正直行きたくないという気持ちのほうが強かった。だが、来てしまえば特に憂鬱に感じることはなく普通の生活を送っている。留学をしたいと思っている人間としてはおかしな感情なのだろうが、特に楽しみに感じないことによって、現実には少なくとも想像していたより充実したものであるという意味では、良いことであると受け止めている。</p> <p>月例報告を書いてみて思ったのだが、そもそもこれは来年以降にグアダハラ大学に留学する人向けに書くべきものであるのに、そういう人たちの役に立てるようにという意識を持たずに書いてしまった。どういう内容にすれば、より読みやすく、読む価値のあるものになるかは今後考えなければならないと感じている。大学側が書けというから書くというよりは、自分なりの目的をもって書きたいし、そうあるべきだろう。</p> <p>また、面白い出来事についてや面白い話をユーモアを交えて伝えられたら、という気持ちがありはするが、大学の授業で提出するレポートを面白おかしく書く人がいるとすればそれは、頭がおかしいとしか言いようがないので控えようと思う。</p>